

テンサイシストセンチュウの防除対策の効果検証と調査手法の改良

研究期間	平成 30 年度
課題番号	3008
研究実施機関	テンサイシストコンソーシアム ・(国研)農業・食品産業技術総合研究機構(中央農業研究センター) ・(学)龍谷大学 ・長野県野菜花き試験場
研究概要	平成 29 年 9 月に、長野県諏訪郡原村の一部地域において、わが国で初めてテンサイシストセンチュウが確認されました。本線虫は、植物防疫法における「検疫有害動植物」の一つで、あぶらな属(キャベツ、ブロッコリーなど)植物、ふだんそう属(てんさいなど)植物等の生産に大きな被害を与えるおそれがあり、現在、本線虫のまん延防止を図るため、発生ほ場における寄主植物の植栽自粛、土壌消毒の実施等の緊急防除を実施しており、同対策による効果を検証する必要があります。 このため、本線虫の緊急防除で実施している薬剤防除の効果を検証するとともに、従来法を上回る検出感度の密度調査技術等の開発、また、本線虫の寄主になりうる植物の解明等を行うための研究を実施しました。
研究 成 果 の 概 要	本研究の実施により、主として以下の成果を得ました。 ・ テンサイシストセンチュウの防除に、DD 剤による土壌燻蒸が効果的であることを確認 ・ 土壌消毒による防除対策の効果を確認するため、ふ化促進物質を利用したバールマン法による本線虫の幼虫密度の推定方法を開発 ・ 対抗植物として、コブ減り大根が有望であることを確認 ・ トマトが本線虫の寄主になることを確認
行政における研究 成 果 の 活 用 方 針 (令和 2 年 1 月時点)	テンサイシストセンチュウの化学的防除、同定手法及び寄主植物に関する知見について、長野県諏訪郡原村の一部地域で発生している本線虫に対する防除対策に活用しており、引き続き、防除対策を実施する。

(注)研究実施機関の名称は、研究終了時の名称を記載